

夢だより



保護者セミナー
を開催いたしました！

内容

- 13:00～ 受付開始
- 13:30～13:35 開会のことば
- 13:35～ 講演

「事例に学ぶ就労に求められる力
～障がい者雇用の現場より～」
講師：福岡市障がい者就労支援センター
ジョブコーチ 野村 遥奈氏

- 14:25～14:35 休憩
- 14:35～ 体験発表

「卒業生に学ぶ就労に求められる力
～特別支援学校卒業生とその保護者、
企業担当者に聞く～」

- 福岡市立博多高等学園卒業生・保護者
(医療法人相生会 新吉塚病院・事務補助勤務)
- 医療法人相生会 管理本部 田口 宏氏

- 15:25～15:30 閉会のことば

ジョブコーチの役割とは？

ジョブコーチとは、「職場適応援助者」のことです。障がいのある方の企業就労がスムーズに進み、定着できるようにアドバイスをする役割を担っています。

具体的な役割としては、

- ◆障がいにあった仕事の組み立ての整理や提案をする
- ◆理解しやすいようにシステム化して、仕事の理解を進める
- ◆通勤や休憩時間の過ごし方など、職場生活に必要な生活面の支援を行う
- ◆一人で仕事ができるよう、他従業員の方に覚えやすい仕事の教え方や接し方などを伝える
- ◆職場定着後も定期的に職場を訪問し、課題や問題があれば調整に努める



ジョブコーチや卒業生、保護者、企業担当者に聞く

就労に求められる力とは

平成 31 年 2 月 23 日に保護者セミナーを開催いたしました。このセミナーでは、障がい者の就労を支援するジョブコーチや、現在就労している特別支援学校の卒業生とその保護者、就労先の企業担当者の話を通して、就労に求められる力についての理解を深め、家庭支援につなげることを目的として企画しました。

当日は福岡市内小・中学校の特別支援学級や特別支援学校を中心にたくさんの保護者にご参加いただきました。

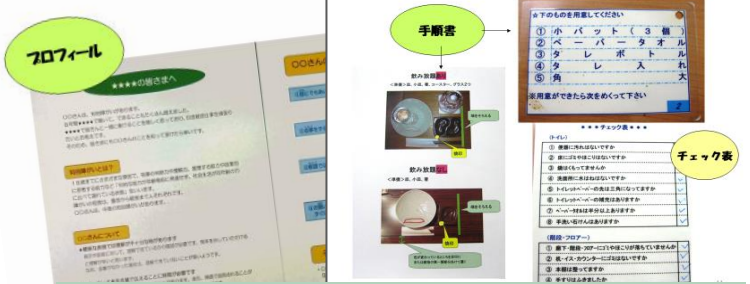
講演

講演では、福岡市障がい者就労支援センターでジョブコーチとして障がいのある方々の就労支援をされている野村遥奈氏に、障がい者雇用におけるジョブコーチの役割や具体的な支援の事例を紹介いただきました。細かな仕事の流れを示したスケジュール表や、図・写真を使った手順書があることで、障がいのある方がスムーズに、自発的に仕事を進めることができることなどを説明されました。また障がい者雇用においては、“マッチング”が大きな決め手となりますが、障がいの特性を見事に生かしたマッチングの成功例を動画で見せていただき、保護者からは、我が子の将来働く姿のイメージにつながったとお声もいただきました。

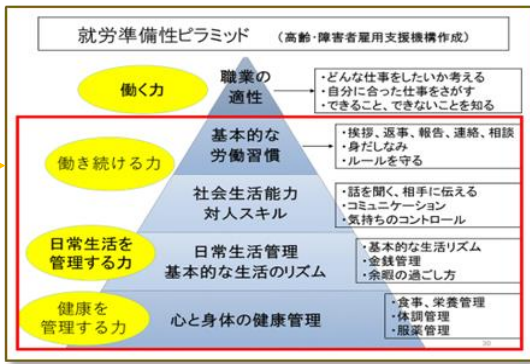
さらに、こうした社会資源の活用をしながらも、企業で働くために身に着けるべき基本的な力については、障がいのある、なしは関係なく誰にでも共通して求められることも強調されました。「休まない、あいさつができる、時間を守る、一生懸命頑張る」など、小学生や中学生のうちから習慣として家庭で取り組んでほしい項目であると話されました。



福岡市障がい者就労支援センター
ジョブコーチ 野村 遥奈氏



↑ジョブコーチが行っている支援の具体例
当事者の特性を説明したプロフィールや仕事の手順書



最後に野村氏は、家庭支援ならではのメリットを活かして、“働く”ということについて親子で話し合ったり、就業準備性を意識した課題に取り組んでほしいという言葉で講演を締めくくりました。

今回参加された保護者は、小・中学生の保護者が多かったのですが、皆さん熱心に聞き入っておられ、いくつか質問も出るなど、就業に対する意識の高さがうかがえました。

体験発表

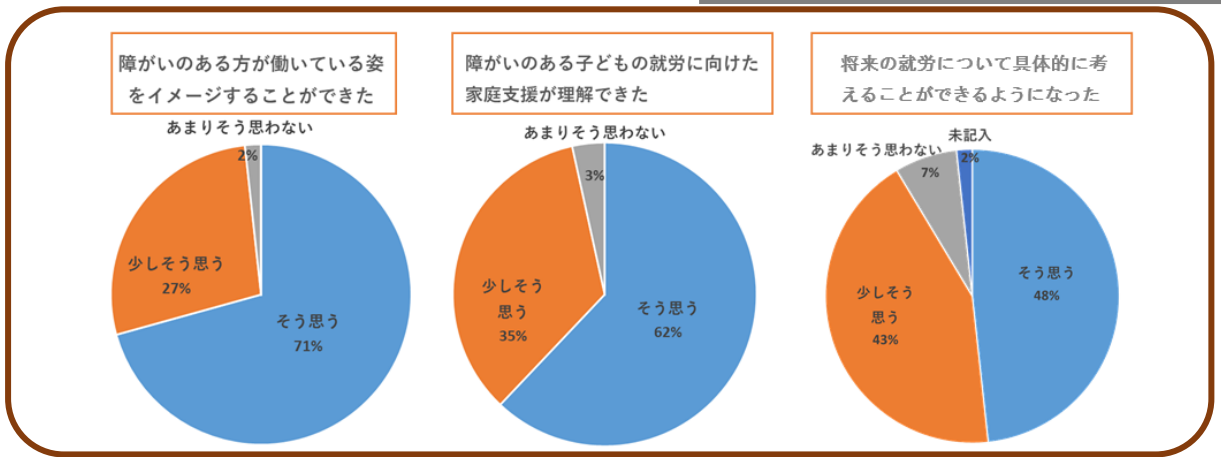
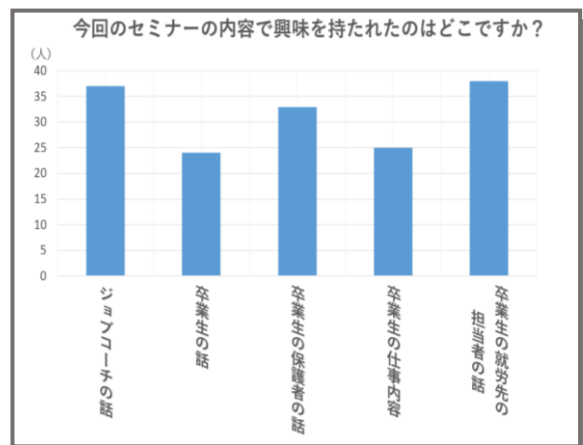


特別支援学校卒業生の体験発表では、博多高等学園の卒業生で医療法人相生会新吉塚病院事務部に勤務されている四尺さんとお母様、そして四尺さんの採用担当だった管理本部の田口氏に登壇いただきました。

四尺さんの自己紹介の後、田口氏より四尺さんの現在の仕事内容や職場実習の受入から採用に至るまでの経緯をお話いただきました。その中で、四尺さんの採用の決め手は『伸びしろ』だと田口氏はおっしゃいました。四尺さんは実習で取り組んだことを家でも練習したりして、その都度スキルアップを目指す努力をしていたというのです。

お母様のお話の中にもあった、親子がしっかりと向き合い、就業に対して取り組んでいこうという姿勢が表れていたということです。最後にお母様から「お子さんの将来の自立や仕事について、常日頃から話し合う時間を作るようにしてください」とアドバイスをいただき、参加者一同、うなずいていました。

自己紹介をする四尺さん(中央)、左は四尺さんのお母様、右は四尺さんの勤務先の医療法人相生会管理本部課長の田口氏



セミナー終了後、参加された教員の皆様にお願したアンケートの一部をご紹介します。

- ◆障がいのある方が実際に職場で違和感なく働いている動画に大変説得力がありました。職場の適性や理解も大事だと思いますが、就業に必要な能力のピラミッドはもっと大事だと思います。(小学校・特別支援学級)
- ◆ジョブコーチの方のお話で「障がいのあるなし関係なく、あいさつなど基本的なことが就業には大切」「就職はゴールではなく、働き続けるためのスタートだ」と理解することができました。(特別支援学校・小学部)
- ◆高校卒業後にもサポートしてくれるところがあるとわかり安心しました(小学校・特別支援学級)
- ◆就業して社会人として頑張っておられる先輩の姿を見て感動しました。それと同時に、その周りの方々の努力や工夫、苦労は計り知れないのだろうと思い、自分も見習わなければと反省しました。高等部でも、学校の先生方との連携を怠らないようにして頑張ろうと思います。(特別支援学校・中学部)
- ◆職場の方のお話は具体的によくわかりました。とても理解ある職場だと思います。(中学校・特別支援学級)
- ◆就業までの流れがよくわかって参考になりました。ぜひ保護者にも伝えたいと思います。(特別支援学級担任)

今年も市内の特別支援学校高等部の生徒たちが新たな希望と決意を胸に、それぞれの学び舎を巣立っていきました。これまで実習受入をはじめ、様々な形で生徒達を応援してくださった皆様には心からお礼申し上げます。

ここで今春、企業や事業所に就職が決まり、新たな第一歩を踏み出した5名の卒業生に、社会人としての抱負を語っていただきました。

片山 有哉（福岡中央特別支援学校卒業）

CHANGE&スマイルカンパニー（就労継続 A 型）就職

私は将来企業就労をしてお金を稼ぎたいという夢があります。しかしはっきり「この仕事がしたい」という職種を見つけられませんでした。そんな時 CHANGE&スマイルカンパニーで実習させていただき、様々な仕事を体験できました。ケーキのラッピングなどの軽作業や清掃などを実際にさせていただいたことで、どんな仕事が自分に向いているのか、少しわかりました。

卒業してすぐ勤務開始となるので不安もありますが、まずは遅刻をせず毎日出勤することを第一に頑張りたいです。そしてパソコンの技術も習得していきたいです。たくさんのお仕事を通して様々な技術はもちろん、社会のルールや人とのかかわり方を身に付けながら、企業就労を目指します。苦手なことにもチャレンジして、たくさんお給料をもらえるような力をしっかりつけていきたいと思えます。

菊池 武蔵（博多高等学園卒業）

東京海上ビジネスサポート株式会社 九州支社就職

私は事務補助のお仕事に就くことができました。私が行う仕事は、パソコン入力を中心とした事務作業です。2年生の頃から3回実習をしました。タイピングのスピードや正確性が課題となり、毎日練習をして改善に努めました。実習を重ねるたびにできることが少しずつ増えてやりがいにつながりました。また、会社の雰囲気は私に合っており、安心して働けると思いました。

博多高等学園の3年間、先生方がいろいろなことを教えてください、おかげで成長することができました。4月から社会人としての生活がスタートします。不安はありますが、一つ一つの仕事を確実に身に付け、任された仕事は責任を持って取り組みたいです。早く職場に慣れて、長く働き続けられるように頑張ります。そしてお給料をもらったら、貯金をして家族と旅行に行ったり、好きなものを買ったりしたいです。これからは周りの人からたくさんのお話を学び、さらに成長した姿を見ていただけるようにしていきます。支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。

**原 大輔（東福岡特別支援学校卒業）
合同会社西友 サニー原町店就職**

私はサニー原町店に就職が決まりました。仕事内容は、商品の品出し、商品管理、お客様への対応、バックヤードなどです。私がサニー原町店で働きたいと思ったのは、店長様をはじめ職場の皆様の温かさを感じたからです。皆様と一緒に長く働いていきたいと思いました。

将来はレジの仕事や野菜やフルーツのカットにも挑戦してみたいです。またお客様に喜んでもらえるような接客を目指します。

お給料をもらえるようになったら、家族と一緒に旅行に行きたいです。貯金をして将来一人暮らしができるように準備もしていきたいです。

3年間支えていただいた先生方には、社会人になるための力や一人で考え込んでしまう自分に自信をつけていただきました。本当にありがとうございました。これからは職場の方々から教えていただきながら、少しでも早く頼りになるスタッフの一員になれるように頑張ります。

**横山 大成（博多高等学園卒業）
福さ屋株式会社 清水工場就職**

私は福さ屋(株)の工場内作業の仕事に就くことになりました。仕事内容は明太子の選別、ばんじゅう洗浄です。目標は長く働き続けて明太子の軽量などの新しい仕事を任されるようになることです。そのためにはまず、大きな声であいさつすることや「報・連・相」を心がけて、周囲の人とのコミュニケーションを大事にしていきたいと思えます。

たくさんのお話を教えてくださった先生方、本当にありがとうございました。失敗したときや悩んだ時に支えてくれた家族にも本当に感謝しています。給料をもらったら家族と一緒に食事に行きたいです。これから仕事を一生懸命に頑張る、自立した大人を目指していきたいです。ありがとうございました。

**池田 唯（生の松原特別支援学校卒業）
社会福祉法人幸容会 筑豊学園就職**

高校生活では5回の実習を経験しました。保育園や入所施設、清掃や販売業などいろいろな仕事を経験して、どれもやりがいがあったと思います。けれど3年生になって筑豊学園で介護補助の実習をした時、一番のやりがいを感じました。

仕事は、利用者さんの食事介助・洗濯・清掃などでしたが、自分の仕事で利用者さんに喜んでもらったり、職員の皆さんにありがとうと言ってもらったり、仕事を覚えていくのも楽しく、私のいる場所はここだ、自分の居場所を見つけたと思いました。実習を終えた時、職員の皆さんが、私との別れを惜しんで泣いてくださり、利用者さんの「待っているよ」「みんな待っていますからね」と言ってくれので私も泣きそうになりました。とても嬉しく、温かい気持ちになりました。これまで私を支えてくださったたくさんの方たちへの感謝をいつまでも忘れず、新たな場所で自分の人生を切り開いていきたいと思えます。

お知らせ

2019年度「夢ふくおかネットワーク」 総会・講演会 開催!!

とき 2019年6月4日(火)
14:00~16:00(受付13:30~)

ところ 福岡市市民福祉プラザ ふくふくホール

対象 障がい者雇用に関心のある企業・事業所
保護者・教員・支援機関・関係機関

定員 200名(申込み先着順) **参加費** 無料

お申し込み
お問い合わせ

福岡市発達教育センター(担当:山里・赤松)
TEL (092) 845-0015
FAX (092) 845-0025
Email: yume_network@city.fukuoka.lg.jp

講演会講師 紹介

「セブンイレブンが進める
障がい者雇用の取組」(仮)



株式会社セブンイレブン・ジャパン
ダイバーシティ推進部
障害者職業生活相談員
石川 道広 氏

“近くて便利”なお店として日常生活に欠かせないコンビニの最大手「セブンイレブン」様。「障がいのある社員一人ひとりが活躍し、働き続けたい会社を実現したい」という理念のもと、知的障がいのある方の店舗採用を推進するセブンイレブンジャパン様の障がい者雇用についてご紹介いただきます。

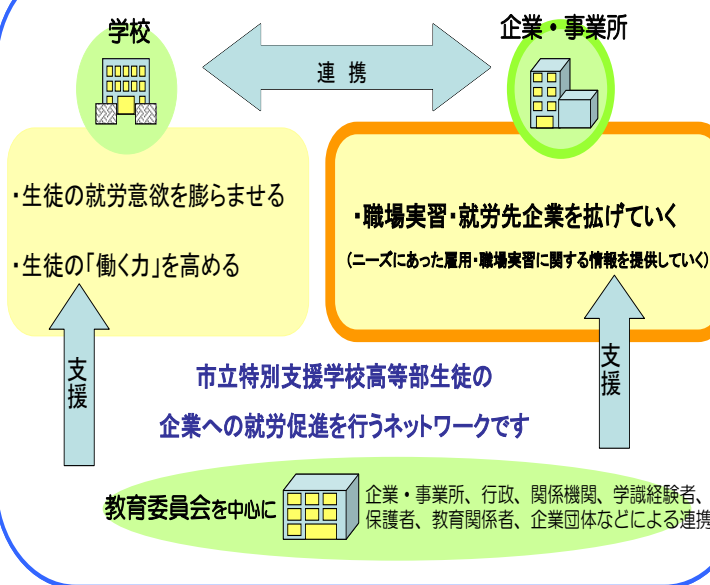
「夢ふくおかネットワーク」登録企業を募集いたします!

福岡市教育委員会は、企業・事業所、学校、関係機関、保護者、学識経験者等によるネットワークを立ち上げました。障がいのある市内特別支援学校高等部生徒の企業・事業所就職を、雇用される側(生徒)、雇用する側(企業・事業所)の両側から捉え、推進していく取組を行っています。登録いただいた企業・事業所様へは、特別支援学校に関する情報の発信、企業・事業所間での情報交換の場の提供などを行ってまいります。

《事業内容》

- 総会(年1回) ● 会報発行(メールにて配信)
- 各種セミナー開催
- 学校見学会、雇用企業・事業所見学会等のイベント開催
- * 生徒の職場実習(インターンシップ)や雇用をお考えの企業・事業所様からのご相談を受けます

「夢ふくおかネットワーク」とは?



福岡市教育委員会 発達教育センター

福岡市中央区地行浜2丁目1-6

TEL 092-845-0015

FAX 092-845-0025

E-mail yume_network@city.fukuoka.lg.jp

HP <http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/hattatuc/>

「夢だより」についての
ご感想、ご意見などを
お寄せください。

※左記参照

